

春日井民商だより

春日井市どぶき町一八三
 〒481-1148
 電話 八二一四八二一
 FAX 八二一九七五六



『ストップ国保税値上げ！春日井市民の会』結成 国保値上げ阻止のため来年1月末めざし署名を集めよう

4年かけて約1.4倍になる国保税。物価高騰やインボイスで中小業者の生活は圧迫されているのに、これ以上国保を上げられたら生活すらできない。これ以上国保を上げなければという事で7月24日(水)、総合福祉センターで「ストップ国保税値上げ！春日井市民の会」が結成されました。全体の参加は27名。春日井民商からは14名が参加しました。

「去年に比べ3万5千円も値上がりした。嫁さんとうとうしようって話をした。いつもは一括で支払うが、今回は分割払いにした」
 「扶養が1人減ったのに3万ちよいの増税。このままだと4年後には約20万程上がる計算。稼ぐのが大変なのに値上げされると困る。タイミングが違うのでは？一括から分割払いにした」

「11年上がっていないことを評価とあるが、4年にわたってあげるのではなく11年間微増していけばよかったのか。愛知県下の他市町村と比べると春日井は高いのか安いのかまた、春日井だけ安くならないのか？」などの意見が出ました。

日本共産党の伊藤市議から『他県では段階的ではなく一括で値上げを慣行するところもある。国の負担率が低くなったのも一原因であると思われる。何も言わないと許容範囲と思われるのでそれではダメ。請願署名が必要』と、発言がありました。

ストップインボイスの会・生田さんは『SNSで国保税が上がることを知った。これに危機感を感じ、一人で請願行動を



行った。中央社保協では、払える国保料にするなどのネット署名も盛んにおこなわれている。協力をよろしく願います』と発言。

またこれ以外にも、『18歳未満の分は市が負担してくれればいいのに』『困っている人がこんなにもいるという実情をしっかりとらうのが大事』等の意見が述べられました。

その後、参加者で春日井市に値上げストップを求める運動を進めるための「会」を立ち上げ、名称を「ストップ国保税値上げ！春日井市民の会」とすることが確認されました。

代表委員は森山行良春日井民商会長、事務局の連絡先を春日井民商が引き受ける事になりました。当面の行動として、3月末議会に提出するため、8月のお盆明けより1月末を目途に署名を集めま

皆様のご協力をお願いします。

事務局員交流会に参加しました

7月22日(月)・23日(火)の2日間、全国5会場(宮城、石川、静岡、岡山、山口)をウェブで結んで全商連第32回事務局員交流会が開催されました。東京・千葉・神奈川・静岡・愛知・大阪(一部)の6府県が静岡県掛川市の静岡会場に集まりました。全体で七九一名。静岡会場では、一四一名でした。

太田義郎全商連会長から、「役員・会員と共に要求の実現のために多くの業者に道筋を知らせるのが重要」との挨拶がありました。



次に、石川康宏神戸女学院大学名誉教授の「日本社会をどこに向けるか」という講演では、平和・経済・政治・民商への期待の4項目の話があり、どれも勉強になる話でした。

パネルディスカッションでは、三郷民商(埼玉県)・三田民商(兵庫県)・沼津民商(静岡県)の3民商が、パネラーに。

いろんな困難・苦難を乗り越えようとしている各民商の話や聞きと出来る事出来ない事幅があつて当たり前、それぞれが頑張っているかないと同時に、頑張りすぎて燃えつきることのないようにしたいと思いました。

翌日の分散会では、各府県の事務局員の皆さんと、会員の高齢化問題・各種署名問題・税務相談停止命令・インボイスについての討論をしました。

問題点などを聞くことができ、またそれについての打開策などを話しあうなど有意義な時間を過ごしました。

最後に、6府県の県連・民商・全商連より13名が、世代継承・今後の課題・滞納問題などを全体会発言として話されました。

勉強不足で自分の中で山積している問題点などがあつますが、自分だけでは考えつかない内容などもあり、頭の中が少しすっきりしました。

これからも、事務局員として頑張っていこうと改めておもいました。(上原事務局次長)

好評の
 小豆島ソーメン
 入荷しました
 物価高でも
 値段据え置き
 1.8キロ入り
 2,500円



毎月15日までの会費集金にご協力をお願いします 会計 山崎孝亀